

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和08年01月07日

計画の名称	市街地住環境の再生											
計画の期間	令和06年度～令和10年度(5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	静岡市											
計画の目標	再開発事業による都市機能の更新、地区の特性に応じた機能の整備を行うことにより、都市機能更新や商業機能の強化を推進し、安全で快適な魅力ある住環境の形成を図る。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	6,377	A	6,377	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R6当初)		(R12末)
1	静岡地区の中心市街地における歩行者通行量(休日)をR12年度402,000人/日を目指す。 静岡地区中心市街地における歩行者通行量(休日)を測定する。 歩行者通行量:中心市街地における日曜10時~17時の歩行者通行量の対象地点の合計値(静岡地域中心市街地通行量調査から引用)	329881人/日	人/日	402000人/日
2	静岡の中心市街地に賑わいや魅力を感じる市民の割合をR12年度50.0%を目指す。 静岡の中心市街地に賑わいや魅力を感じる市民の割合を調査する。 静岡の中心市街地に賑わいや魅力を感じる市民の割合:静岡市在住の18歳以上の個人(無作為抽出)によるアンケート回答(静岡市市民意識調査から引用)	30%	%	50%
3	建物更新に向けた、地権者等による検討会(話し合いの場)が継続して行われている対象地区内の街区数をR12年度2街区を目指す。 建物更新に向けた、地権者等による検討会(話し合いの場)が継続して行われている対象地区内の街区数を調査する。 (地権者等による検討会が行われている対象地区内の街区数)	1街区	街区	2街区

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
継続事業であり、R12年度に事業完了予定。												

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		種別	種別	対象	間接							R06	R07	R08	R09	R10					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	静岡市	間接	再開発組合	—	—	紺屋町・御幸町地区第一 種市街地再開発事業	商業・事務所・住宅等（施行 区域：約0.8ha）	静岡市	■	■	■	■	■	6,368	1.16	—		
	A16-002	住宅	一般	静岡市	直接	静岡市	—	—	呉服町通り沿道地区	初動期支援業務（約3.8ha）	静岡市			■			9		—		
											小計						6,377				
											合計						6,377				

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 市街地住環境の再生

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画と目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組み内容となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○

計画の名称	市街地住環境の再生		
計画の期間	令和6年度～令和10年度(5年間)	交付対象	静岡市

